

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス

平成 28 (2016) 年 2 月 12 日

第 8 号

発行 桐ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒 136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、
教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに
関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供し
ています。

文部科学省
「次世代の学校・地域」
創生プラン

中教審 3 答申の具体化に向けた 改革工程表を発表

● 「次世代の学校・地域」創生に向けた一体改革案

文部科学省は 1 月 25 日、『「次世代の学校・地域」
創生プラン～学校と地域の一体改革による地域創生～』（馳
プラン）を公表した。

これは、昨年 12 月 21 日にとりまとめられた中央
教育審議会 3 答申（下記参照）の具現化に向けて、改革内
容ごとに、①目指す方向性、②具体的施策、③工程表を
まとめたものである。工程表は、平成 28 年度から、次
期学習指導要領が小学校において完全施行となる予定の
32 年度までの 5 年間を対象としている。

中央教育審議会答申
(平成 27 年 12 月 21 日)

新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた 学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について

政府が掲げる「地方創生」の方針を踏まえながら、学
校と地域の新たな連携方策を提言。従来の学校支援地域
本部や放課後子供教室などの取組を基盤に、「支援」か
ら「連携・協働」、「個別の活動」から「総合化・ネットワ
ーク化」を目指す仕組みとして、保護者、地域住民、企業、
団体等からなる「地域学校協働本部」の導入・整備を求
める。コミュニティ・スクール化と、「地域学校協働本部」

を核とした地域学校協働活動を、これからの連携・協働
のための両輪と位置付けている。

*

チームとしての学校の在り方と 今後の改善方策について

教職員と学校外の専門スタッフがそれぞれの専門性
を生かし、学校全体の教育力を上げるチーム体制の構
築、学校のマネジメント機能の強化、教職員一人一人が
力を発揮できる環境の整備を提言。外部の専門スタッフ
としては、スクールカウンセラーやスクールソーシャル
ワーカー、ICT 支援員、学校司書、外国語指導助手、
部活動指導員（仮称）、特別支援教育に関する専門職員
を例示。配置促進のための法改正を視野に入れている。

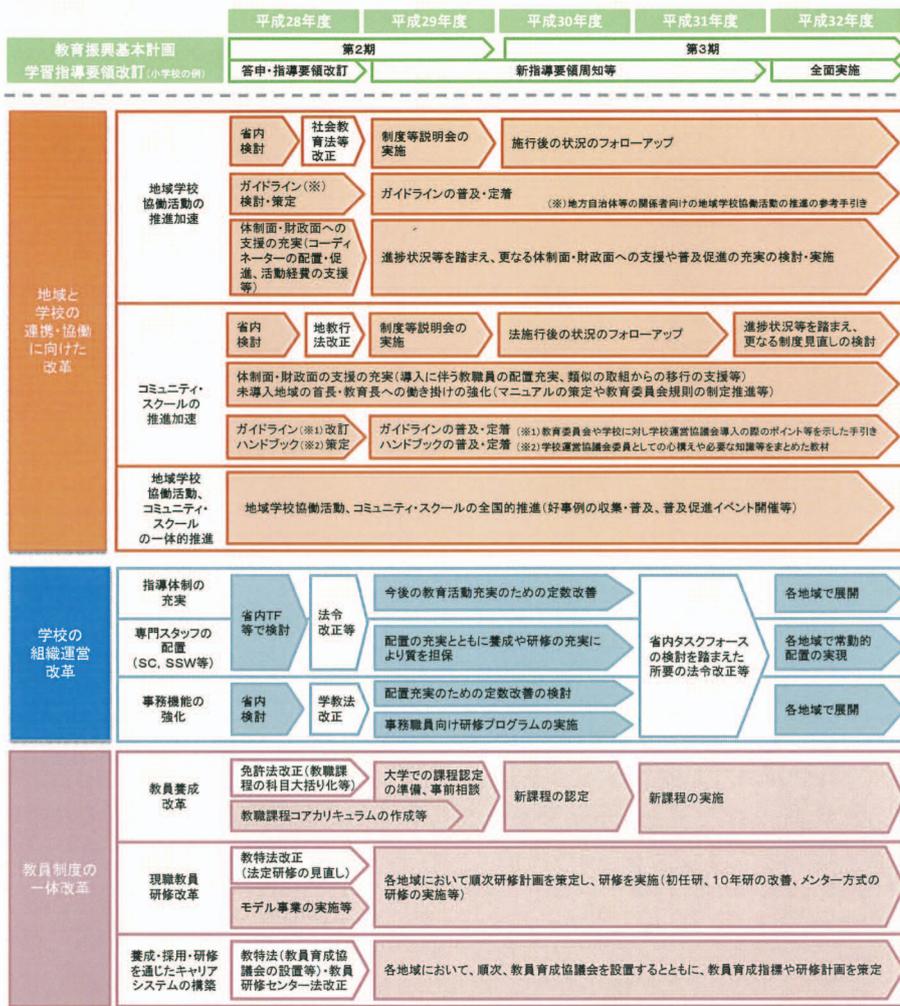
*

これからの学校教育を担う教員の 資質能力の向上について ～学び合い、高め合う教員養成コミュニティの構築に向けて～

教員の養成・採用・研修を通じた不断の資質向上を図
るための方策を提言。初任者研修の弾力化（校内研修重
視）、十年経験者研修の目的明確化（ミドルリーダー育成）
など、「教員は学校で育つ」との考えのもと教職のライ
フステージに応じた現職研修の改善をうたっている。

文部科学省は学校・地域の創生に向けたこの一体改革に
ついて、「学校にかかる観点からは、『社会に開かれた教育
課程』の実現や学校の指導体制の質・量両面での充実、『地
域とともにある学校』への転換という方向を、地域にかか
る観点からは、次代の郷土をつくる人材の育成、学校を核
としたまちづくり、地域で家庭を支援し子育てできる環境
づくり、学び合いを通じた社会的包摂という方向を目指し
て取組を進める」としている（工程表は次頁参照）。

「次世代の学校・地域」創生プラン一体改革工程表



2月

◆12日 菜の花忌(司馬遼太郎の忌日) / ペニシリンの日 ◆13日

苗字制定記念日 ◆14日 煮干しの日 / バレンタインデー ◆15日 初の人間国宝指定(七代目・坂東三津五郎ら、1955) ◆16日 天気図記念日 ◆17日 長野冬季五輪、ジャンプ団体で日本が金メダル獲得(1998) ◆18日 嫌煙運動の日 / エアメールの日 ◆19日 万国郵便連合加盟記念日 / 雨水(2016) ◆20日 歌舞伎の日 / 普通選挙の日(第1回普通選挙、1928) ◆21日 日刊新聞創刊の日 ◆22日 太子会(聖徳太子の忌日、622) ◆23日 税理士記念日 ◆24日 昭和天皇大喪の礼(1989) ◆25日 フィリピン、マルコス政権崩壊、コラソン・アキノ大統領就任宣言(1986) ◆26日 ニ・ニ六事件(1936) ◆27日 新撰組の日 ◆28日 ビスケットの日 ◆29日 ニンニクの日

●●● 2/12 ~ 28 生まれの著名人 [敬称略] ●●●

2月

山口淑子 [李香蘭] (12日)、植村直己 (12日)、南こうせつ (13日)、有村架純 (13日)、岡倉天心 (14日)、ヒロシ (14日)、井伏鱒二 (15日)、わたせせいぞう (15日)、高倉健 (16日)、相川七瀬 (16日)、シーボルト (17日)、白洲次郎 (17日)、オノ・ヨーコ (18日)、中村敦夫 (18日)、財津和夫 (19日)、村上龍 (19日)、長嶋茂雄 (20日)、志村けん (20日)、大前研一 (21日)、前田吟 (21日)、高浜虚子 (22日)、イッセー尾形 (22日)、北大路欣也 (23日)、中島みゆき (23日)、佐久間良子 (24日)、草野仁 (24日)、植木等 (25日)、寺脇康文 (25日)、岡本太郎 (26日)、桑田佳祐 (26日)、エリザベス・テラー (27日)、徳永英明 (27日)、田原俊彦 (28日)、菊川怜 (28日)、原田芳雄 (29日)、赤川次郎 (29日)

月刊シリーズ『新教育課程ライブラリ』(全12巻)

Vol.2 学校現場で考える「育成すべき資質・能力」

2月16日 発行

■特集 学校現場で考える「育成すべき資質・能力」

●解説

新教育課程が目指す「資質・能力」(市川伸一) / 資質・能力を学校現場でどう捉え実践化するか(村川雅弘) / 思考力・判断力・表現力の育成と評価(角屋重樹) / 「学びの変革」に向けたチャレンジについて(広島県教委)

●事例

京都市立御所南小学校 / 横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校 / 高知県本山町立嶺北中学校

●レポート

研究・新潟県上越市立大手町小学校～資質・能力を育成する教育課程開発～

●提言

「総合」の実践から考える資質・能力の育成(嶋野道弘)

■巻頭インタビュー

深田悦之(ミュージシャン・音楽プロデューサー)

■連載

新課程を生かすカリキュラム・マネジメント(天笠 茂) / 「育ち」と「学び」をつなげる授業(奈須正裕) / 実践! アクティブ・ラーニング研修(村川雅弘) / ミドルリーダーが創るこれからの学校(大脇康弘) / 学校改革の新定石(西留安雄) / 教育課程改訂の動向(文科省教育課程課) / 新学習指導要領に向けた指導の充実(教科調査官) —ほか、充実のラインナップ

●学校の先生方のお仕事に関わるニュースや話題をお届けする「きょういくプレス」。第8号はいかがでしたでしょうか。●「きょういくプレス」無料メール配信サービスのお申込みを承り中です。右のQRコードから登録サイトへ簡単にアクセスしていただけますので、ぜひお申し込みください。



●ご注文・お問い合わせ先

株式会社 ぎょうせい
フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Webサイト <http://gyosei.jp>
e-mail Eigyo-edu@gyosei.jp

◎取扱者